

2015年9月19日

ほしざらサロン8月議事録

文責：山本親弘

日 時：2015年8月29日（土）

18:00～22:00

場 所：プラネタリウム事務所

参加者：角、山田（明）

見学者：草宮、砂田

（50音順、敬称略）

職 員：平野、角田、山本

（計7名）

この日、ほしざらスタッフの入会希望の方2名が見学としてサロンに参加されました。7月サロンの議事録に沿って、職員がほしざらスタッフの活動について説明しました。

1. 9月26日（土）のほしざらウォッチング「お月見」について

19:30～21:00 天体観望@風の丘

リーダー：未定

観望対象：月（月齢13.2）

※プラネタリウムでの解説はありません。

今年の中秋の名月は9/27(日)になります。「お月見」ウォッチングはその前日に行い、観望対象は月のみとします。晴れれば200人くらいの来場者数を予想しています。望遠鏡、対空双眼鏡ともに倍率を変えて配置し、月のみを入れて海の部分を見せる予定です。また、スタッフ数が少ないと予想されるので、昨年度行った月を歌った俳句コーナーは、今年度は設けないことにしています。

今回のサロンでは、今年のほしざらウォッチング最後のスタンプカード対象の観望会のため、おもにスタンプカードの金賞、銀賞、銅賞の方に渡す認定証や景品、そして昨年金賞銀賞の方たちを対象に実施した特別観望会を今年も行うかどうかについて話し合いました。

(1) スタンプカード認定証について

現在、スタンプカード認定証を渡すと予想される人数は、金賞 26 人・銀賞 22 人・銅賞 43 人 (8/22 現在) です。昨年と同様に、金賞は名前入りの賞状をラミネートし、銀賞は賞状をラミネート、銅賞は賞状のみになりました。

また、次回のほしざらサロン (9/19) で認定証の準備をします。ご協力お願いします。

(2) 景品について

景品については、①景品対象者は誰か ②景品を何にするか の大きく分けて二つについての話し合いを行いました。

① 景品対象者

スタンプカードの金賞・銀賞・銅賞のうち何賞まで景品を贈呈するか、ということで、まず予想人数を考えました。そうすると、去年は金賞が 25 人、銀賞が 9 人、銅賞が 6 人ということで、割合から考えると銅賞はそこまで来ていないので、金賞・銀賞の方のみに景品を贈ることになりました。

② 景品内容

景品の中身について様々な意見が出たので、以下に会話形式で記述します。

(敬称略)

角田：景品は何がいいか。ちなみに、過去を見てみると、

- ・初年度 タンブラー
- ・2010 年 木星キー ホルダー
- ・2011 年 土星キー ホルダー
- ・2012 年 地球キー ホルダー
- ・2013 年 月缶バッジ
- ・2014 年 月食缶バッジ

などがあります。

砂田：キー ホルダーから缶バッジに変えた理由は？

角田：キー ホルダーはサイズが大きく、

缶バッジはキー ホルダーに比べコストが安価であること。

砂田：お客様の立場から考えると、後々使うならキー ホルダーのほうが使いやすい。

水金地火木・・・の順にキー ホルダーを集めしていくような、ストーリー性があると嬉しい。

角：写真を缶バッジなどに入れられたら楽しいかもしない。

角田：白Tシャツいくらかあります。(アイロンプリントなどで加工)

全員：こどもたちが頑張ってスタンプを集めたので何か記念に残るものが良い。

草宮：星の写真を加工したものはどうか。

角田：星の写真をメーリングリストで募集して、次回のサロンで選ぶか。

平野：地球が良い。

山本：兄弟で来ている人も多いので2パターンあっても良いかもしない。

本当に様々な意見がでましたが、昨年が月食の缶バッジだったので、ストーリー性を考えて今年は太陽と月の2パターンということに決定しました。

またその他に、観望会とプラネタリウムの客層が違うという現状を踏まえ、プラネタリウムの利用を促すために金賞・銀賞・銅賞の方すべてにプラネタリウムの招待券を贈るということになりました。

(3) 特別観望会について

普段の観望会では来場者にゆっくり星を見せてあげることができないので、ウォッチングに毎回来てくれるような方には星を心ゆくまでしっかりと見せてあげたいという観点から、昨年度はスタンプカード金賞銀賞の方のみを対象に12月に特別観望会を実施しました。この特別観望会について、今年度も行うかどうか、また、行うとすれば対象となる人は誰で、どのような方法で告知するかなどを話し合いました。

① 特別観望会の実施の有無

はじめに昨年度の実施状況を振り返りました。

昨年度は対象者34名のうち20数名が特別観望会に参加し、10名ずつ前半(19:00~20:00)と後半(20:00~21:00)に分けて行いました。天候があり良くなく、前半の10名は思うように星は見ることができませんでしたが、後半の最後になると晴れてきて星が見えてきました。結果として、前半と後半で星の見え方に差が生まれてしまうということになってしまいました。

実施する、しないというところから検討した結果、ボランティアの方々の、「子どもたちにじっくりと星をみせてあげたい」という思いから特別観望会は実施することになりました。

しかし、実施時間については、昨年度のように前半後半と二部構成にすると前後で差が生まれてしまう可能性があるので、十分な数のスタッフが参加できれば19:30~20:30の一回のみでも良いのでは、ということになっています。

② 参加対象者

対象者について 2 パターン考えられます。

- ・金賞のみを参加対象とする
- ・金賞・銀賞の 2 つを参加対象とする

まず、金賞のみを対象とした場合、人数に余裕があり告知方法も分かりやすいという利点がありますが、何らかのやむを得ない理由でウォッチングに 1 回だけ来ることができなかつた銀賞の方たちを考えるとかわいそうだという欠点が意見として挙げられました。

また、金賞・銀賞の両方を対象とした場合、スタッフの体制を考えると対応可能人数は 30~35 名程度であり、予想参加人数は 40 名を超えててしまうためじっくり見せてあげることができない、ということでした。

この 2 パターンの利点欠点を考えて、結果的には、最初に参加人数枠を 30~35 名に設定し、金賞は対象で、残りの余った枠の人数だけ銀賞を抽選することに決定しました。

③ 告知方法

特別観望会の告知については、金賞の方には認定証を渡すときに住所と名前を書いてもらい、告知をします。また銀賞の方は抽選の旨を説明した上で名前と住所を書いてもらう形にしています。

特別観望会について決定したことをまとめると、以下のようになっています。

日時：2 月 6 日（土） 19：30～20：30

対象：スタンプカード金賞受賞者全員 + 銀賞受賞者数名（抽選により決定）

※雨天時はプラネタリウム集合

※予備日は無し。

※状況によって変動あり。始まる前に特別観望会の趣旨を説明する。

2. 10 月 10 日（土）～12 日（月）のほしざら合宿について

はじめに、合宿の目的は日々のほしざらスタッフとしての活動に生かすための活動である、ということを見学者の方々も交えて改めて確認していきました。

合宿の参加登録締め切りは 9/19 になっています。また、合宿リーダーも未定なので、併せてよろしくお願いします。

3. クリスマス時期の活動について

クリスマス時期に何をするか具体的に意見を出していきました。そのとき出された意見を以下に記述します。

- ・クリスマス作品第2話投影+缶バッジのクリスマスプレゼントまたは紙芝居。
- ・缶バッジを作るならば、何種類か用意して、違う絵柄を揃えてもらうようにすれば楽しいのではないか。
- ・紙芝居をするならば、券売機上のディスプレイを使用して音声を録音する。
または音を流しながら紙芝居をするか。
- ・クリスマス作品第2話はプラネタリウムで投影するので、紙芝居は第1話を行う。
- ・市民ギャラリーでボランティアの活動展示を行う。
- ・プロキオンの着ぐるみが欲しい。
- ・告知をするなら、サラダの締め切り日 9/20～25 ぐらいまでには決定したい。

ということで、様々な意見がでましたが、次回のサロンに持ち越しとなっています。
たくさんの意見をお待ちしています。

4. 今後の活動予定について

- 9月12日（土） 出張観望会「乙仲原西区吉田4組合」
(粕屋町仲原アンピール福岡東)
- 9月19日（土） ほしざら友の会
第6回「ペットボトルロケット工作」13:30～16:00
- 9月19日（土） ほしざらサロン
- 9月26日（土） ほしざらウォッチング「お月見」
- 10月10～12日 ほしざら合宿
- 10月17日（土） ほしざら友の会第7回「太陽の観察」

~~~~~  
8月のサロンはおもにお月見ウォッチングについての話し合いでした。しかし、リーダーがまだ決まっていません。引き受けてくださる方、募集しています。クリスマスのアイデアと合わせてよろしくお願ひいたします。

次回の「ほしざらサロン」は、9月19日（土） です。